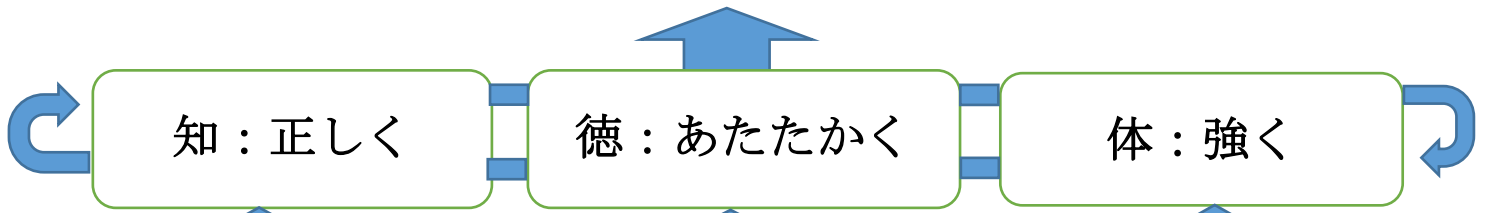






# 太陽の子



考える楽しみ 学びの深まり	あいさつ	健康的な生活
<p><b>○他者と関わり合いながら、学びを深める子</b></p> <p>①考えたい、伝えたい、話し合いたいと思える課題を設ける。 A:学年内で週に1度情報共有した B:1月に1度は情報共有をした C:それ以下</p> <p>②学びの深まりを実感させる振り返りのさせ方を工夫する。 「ふだんの授業では、授業の終末に学習内容を振り返る活動を行っている」 A:80%以上 B:75%~79% C:74%以下</p>	<p><b>○相手の方を見てあいさつし、相手や自分の良さを見付けられる子</b></p> <p>① 相手の方を見てあいさつする。 「各学級であいさつの仕方を指導したり、各学年であいさつ運動に取り組んだりしたりする」</p> <p>② 相手や自分の良さをさらに見付ける。 「各行事で自分だけでなく相手の良さも見付ける」 A:75%以上 B:70%以上 75%未満 C:70%未満 ※①②とも</p>	<p><b>○進んで運動し、健康的な生活をする子</b></p> <p>①進んで体を動かす習慣を身に付ける。 生活意識調査で「体を動かして遊んだり、運動量・スポーツをしたりしています。」 A:80%以上 B:70%以上 80%未満 C:70%未満</p> <p>②メディア時間をコントロールできる。 「家庭学習強調週間」のメディアの項目において5日間150分以下を達成している。 A:70%以上 B:60 以上 70 未満 C:60%未満</p>

<p>◇校内研究で、関わり合いを深める手立てを追求する。</p> <p>◇話し方、聞き方、対話の仕方を発達段階に応じて指導する。</p> 	<p>◇各学年・学級で具体的にあいさつの仕方を指導する。</p> <p>◇相手の方を見てあいさつするように、各学年で「あいさつ運動」に取り組み、その後も継続する。</p> <p>◇相手や自分の良さを行事や縦割活動の中で気付く</p> 	<p>◇運動量を確保した楽しい体育授業を行う。</p> <p>◇「家庭学習強調週間」を実施し、児童の家庭におけるメディアの時間を減少できるように保護者に呼びかけたり、児童への指導を丁寧に行ったりする。</p> <p>◇養護教諭・担任・学校医が連携し、メディアが体に与える影響を指導する。</p>	
<b>支持的風土</b>	<b>情報活用能力</b>	<b>個別最適な学び</b>	<b>協働的な学び</b>

一人一人の児童に合わせた適切な支援と指導を行い、周囲と関わり進んで活動に取り組む児童を育成する **特別支援教育**

○細やかな児童理解と個に応じた支援の充実 ○UDLを取り入れた授業の工夫と環境整備  
 ○児童同士、また家庭や地域が児童を理解し認め、助け合うことができる交流教育の充実

## 保護者・地域と共に育てます

- ◇「地域とともにある学校」づくりを目指した学校運営協議会の設置(コミュニティスクール)
  - ◇学習支援ボランティアとの協働による授業と学習活動の充実
  - ◇小中一貫教育プロジェクトの推進(学習部会、生活・生徒指導部会、地域との協働部会、特別支援教育部会)
  - ◇安心安全な登下校を保障できる見守り隊とセーフティスタッフとの協力
- 